

## 中学校第2学年【国語】

### ◆ 授業改善のポイント

- 生徒が主体的に言語活動に取り組む際に、次の点に留意することが重要です。
  - ・文章を読む際に、段落相互の関係や場面・描写を個別に捉えるだけでなく、複数の情報を目的に応じて整理し、相互に関連付けながら内容を解釈する学習過程を重視し、表層的な理解にとどまらないようにします。
  - ・話し合う場面において、互いの立場や考えを尊重しながら、結論を導くために考えを整理・統合していく過程を重視する。その際、話し合いの流れや接続する語句に着目し、考えのつながりを捉えさせたり、主張との関係を根拠にししながら自分の考えを形成させたりします。

### ◆ 今回の調査結果から明らかになった成果と課題

- 成果： 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫する力が身に付きつつあります。
- 課題： ① 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈することに課題が見られます。  
 ② 互いの立場や考えを尊重しながら、結論を導くために考えをまとめることに課題が見られます。

### ◆ 成果が見られた問題の概要 「大問5(3)「書くこと」(思考・判断・表現)」

#### 【設問の概要】

- 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができるかどうかをみます。

次は、吉本さんが【意見文の下書き】を書く前に作った【構成メモ】です。この【構成メモ】と【意見文の下書き】の間には相違があります。【構成メモ】から変更した部分とその意図の説明として最も適切なものを、あとの選択肢から一つ選びなさい。

【構成メモ】	
A	体験（講演会）
B	問題提起（「努力」について）
C	考え1（具体的に→野球？）
D	考え2（根拠の説明）
E	結論

【意見文の下書き】

A 「努力」というものについて、二つの意見がある。一つは「成果につながる努力は意味がない」という意見。もう一つは「努力はそれ自体に意味がある」という意見である。①「この二つの意見について考えてみたい。」

B このことを考えたのは、ある講演会がきっかけだ。多くの方の意見を聞いたが、最初にお話をなさった方が「努力を言い訳にしてはいけない」「成果につながる努力には意味がない」とおっしゃったのに対して、次の方は「努力を言い訳にしてはいけない」という言い方ははもつとだが、たどえ成果が出なくても努力すること自体が尊い」とおっしゃった。このお二方のお話を、私は非常に興味を持ち、感じた。そこで、この問題についてしっかりと自分でもよく考えてみようと思ったのである。

C 私は野球部に所属しているので、野球を例に考えてみたい。レギュラーを目指して努力したが、結局レギュラーになれなかった。つまり目的とした成果が得られなかったとする。この場合、努力は無駄になったのだろうか。私は、けっしてそうではないと考える。

D なぜなら、レギュラーになれなかったとしても、努力することによって私に人ごとの変化が起きたはずだからだ。レギュラーにならなかったためにたくさん練習をしたことで、少しは野球が上手になったはずだ。また、野球で自分なりにがんばったという経験が、次は受験勉強に生かせるかもしれない。目的を特定し、それに向かって進んでいく過程に「よろこびが感じられるようになるかもしれない」。

E このように、たとえ目に見えない成果につながらなくても、努力することにはさまざまなよい効果が期待できる。②つまり、私は「努力はそれ自体に意味がある」という考えを支持する。

平均正答率 (%)	本県	市町村	自校
	63.4		

#### 【選択肢】

- 1 最初に結論を明確にしたほうがよいと考え、Eを冒頭にもってきた。
- 2 最初にテーマを明確にしたほうがよいと考え、AとBを入れ替えた。
- 3 根拠を先に説明したほうがよいと考え、CとDを入れ替えた。
- 4 問題と結論の結びつきを強めたほうがよいと考え、BをEの直前にもってきた。

#### 【解答類型と反応率】

正答	解答類型	反応率(%)	自校
	1と解答しているもの	8.5	
◎	2と解答しているもの	63.4	
	3と解答しているもの	16.2	
	4と解答しているもの	10.7	
	無解答	1.3	

#### 【指導継続のポイント】

- 段落相互の関係を「可視化」する学習活動の充実
 

段落ごとに「この段落は何を伝えているか」「どの段落を支えているか」を整理する構成メモや関係図を取り入れます。「結論—理由—具体例」など、文章の骨組みを図で表す活動を通して、段落相互の関係を構造的に捉えることができるようになります。

◆ 課題が見られた問題の概要 「大問3(3)「読むこと」(思考・判断・表現)

【設問の概要】  
 ○ 場面と場面、場面と描写などを結び付けながら、登場人物の言動の意味などについて考えるなどして、内容を解釈することができるかどうかをみます。

この文章を読んだ岡田さんと中原さんは、——線部②「あ、待って、ひかり、背筋を伸ばそう」について、話をしています。A～Cにあてはまる最も適切な言葉を、文章中からそれぞれ一単語で抜き出さない。(二か所あるBには同じ言葉があてはまります。)

平均 正答率 (%)		本県	市町村	自校
	A	41.5		
	B	39.3		
	C	59.7		

私は、この御木元さんの言葉を聞いた「私」の反応から、以前から「私」が御木元さんと親しくなりたと思っていたのだと考えました。「私」はこの言葉を聞いて、「A」だけでなく、「B」を感じているからです。この「B」を感じている点から、「私」がこれまで、御木元さんと親しくなりたいたいという気持ちを抱いていたことが読み取れます。



岡田さん

なるほど。その点は、もう一つ根拠がありそうです。御木元さんが「私」のことを「佐々木さん」ではなく「ひかり」と初めて呼んだとき、その変化を「私」は「C」と表現しています。「私」は、親しくなりたと思っていた御木元さんとの心の距離が近づいたと感じて、このように言ったと考えられます。



中原さん

A ... \_\_\_\_\_  
 B ... \_\_\_\_\_  
 C ... \_\_\_\_\_

【解答類型と反応率】

正答	「A」 解答類型	反応率(%)	自校
◎	「驚き」と解答しているもの	41.5	
	上記以外の解答	44.3	
	無解答	14.3	

正答	「B」 解答類型	反応率(%)	自校
◎	「よろこび」と解答しているもの	39.3	
	上記以外の解答	46.3	
	無解答	14.4	

正答	「C」 解答類型	反応率(%)	自校
◎	「昇格」と解答しているもの	59.7	
	上記以外の解答	29.1	
	無解答	11.2	

【問題点】

- 文学的な文章を読み味わう際に、段落ごとの内容は把握しているものの、どの描写とどの描写を結び付けて読むのかそれによって場面や描写にどのような意味が生まれるのかといった点まで踏み込まず、解釈が表層的・一面的にとどまっている状況がうかがえます。
- 「精査・解釈」の過程において、登場人物の言葉や行動が、話の展開にどのように関わっているのかという視点で考える経験が十分でなかった可能性も考えられます。

【改善点】

- 複数の場面や描写を結び付ける読みの指導  
 個々の場面理解にとどまらず、「前後の場面と比べて何が変わったか」、「この描写は、その後の展開にどうつながるか」といった場面相互を関連付ける発問を意図的に設定します。場面・描写・人物の心情の関係を図や表で整理する活動を取り入れ、構造的に捉えることが重要です。
- 描写を根拠にした解釈の充実  
 登場人物の言動について、「そのように考えた根拠となる描写はどこか」を明確にさせる活動を重ねます。解釈が一つに定まらないことを前提に、どの描写を結び付けたかによって解釈が多様になることを意識し、再度自分の考えを形成するなどの時間を確保することが重要です。

◆ 全国学力・学習状況調査問題（中学校第3学年）との関連

【指導事項の関連】

- 「考えの形成」の過程において、根拠を明確にししながら、自分の考えが伝わるように、文章を工夫することができかどうかをみます。

【鹿児島学力・学習状況調査 中2問題 大問1(4)】

【話し合いの様子の一部】に、——線部③「イ」ことにして、もう少し、話す内容を増やしたいと思います。」とありますが、町田さんは、【プレゼンテーションの練習の記録】のどこに何の内容を追加するか考え、「イ」の部分で述べようとしています。次の【1】と【2】の案が浮かびましたが、発表の時間を考えると、追加できるのはいずれか一つです。

【1】③と④の間に、「フード・マイルージの大きさと環境への影響の説明」を追加する

【2】⑧と⑨の間に、「自分たちが『地産地消』を実践してみた感想」を追加する

あなたが町田さんなら、【話し合いの様子の一部】内で挙げられていた改善点をふまえて、【1】と【2】のどちらを提案しますか。その番号をあとの選択肢から選びなさい。また、その内容を追加するとよいと考えた理由を、次の【条件】に合わせて答えなさい。

【条件】

- ◆ 八十字以上、百十字以内で答えること。
- ◆ 【話し合いの様子の一部】内の、だれの発言をふまえたのかということや、班の主張とのつながりを明らかにして答えること。
- ◆ 最初の一字を空ける必要はない。また、文の数は問わない。

平均正答率 (%)	本県	市町村	自校
	19.5		

【正答の条件】

- ① 【1】と【2】のどちらを提案するかを選んでいる。
- ② 選択した内容を追加するとよいと考えた理由を、【話し合いの様子の一部】内で挙げられていた改善点をふまえて答えている。
- ③ 80字以上、110字以内で答えている。

【解答類型と反応率】

正答	解答類型	反応率(%)	自校
◎	条件①,②,③を満たしているもの	19.5	
	条件①,②は満たしているが,条件③は満たしていないもの	0.5	
	条件①は満たしているが,条件②は満たしていないもの	59.7	
	上記以外の解答	5.4	
	無解答	14.8	



【全国学力・学習状況調査 中3問題 大問1-4】

四 今年の美術展では、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを【ちらし】(更新版②)の□の部分に書き加えることにしました。あなたならどのように書き加えますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 今年の美術展の【工夫】のA、Bから1つ選び(どちらを選んでもかまいません。)、それと結び付く小学生の【感想の一部】をAからUまでの中から1つ選び、それぞれ塗りつぶすこと。

条件2 条件1で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係が分かるように、接続する語句や指示する語句を使って書くこと。

平均正答率 (%)	本県	自校
	31.3	

【正答の条件】

- ① 【工夫】のいずれか一方と、【感想の一部】のいずれか一つを選んで、選んだ記号を塗りつぶしている。
- ② 選んだ【工夫】に結び付く【感想の一部】を選んでいる。
- ③ 選んだ【工夫】の内容と【感想の一部】の内容を適切に取り上げて書いている。
- ④ 接続する語句や指示する語句を用いて、選んだ【工夫】と【感想の一部】の内容を適切に取り上げて書いている。

【解答類型と反応率】

正答	解答類型	反応率(%)	自校
◎	条件①,②,③,④を満たしているもの	31.3	
	条件①,②,③を満たしているが,条件④は満たしていないもの	8.5	
	条件①,②,④を満たしているが,条件③は満たしていないもの	0.3	
	上記以外の解答	58.4	
	無解答	1.6	

【指導のポイント】

- 振り返りを通した思考の深化

「自分の考えはどの根拠によって支えられているか」を振り返ったり、友達の記事と比べることで、考えの形成の仕方の違いに気づき、自分の考えがより伝わるように表現へと改善する活動を位置付けたりすることが重要です。時には、学校生活や他教科において、「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の指導事項を意識して学習活動を展開することも必要です。